

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公開番号】特開 2020-52828 (P2020-52828A)
 【公開日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-013
 【出願番号】特願 2018-182765 (P2018-182765)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 3 2 9

B 4 1 J 2/01 2 0 1

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 3/12 3 3 1

G 0 6 F 3/12 3 0 8

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 27 日 (2021.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録装置に、所定幅の複数の線が縞状に並ぶ複数のパッチを含む線幅検知画像を記録させるための記録データを取得するデータ取得手段と、

前記記録装置による前記線幅検知画像の記録結果に関する情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段により取得された前記情報に基づいて、前記記録装置によって記録すべき画像に含まれる線の幅を補正する補正手段と、

を備え、

前記複数のパッチのそれぞれは、第 1 の方向において実質的に同じ間隔で並ぶ複数の線を含み、その各線は、前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向に延び、且つ、第 1 の方向における幅が第 1 の幅であり、

前記複数のパッチのうち、第 1 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔は第 1 の間隔であり、第 2 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔は前記第 1 の間隔とは異なる第 2 の間隔であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記情報は、各パッチについて、複数の線の間に紙白領域が存在するかどうかを示す情報であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記複数のパッチは、前記第 1 の方向における幅が前記第 1 の幅とは異なる第 2 の幅である複数の線が前記第 1 の方向において実質的に同じ間隔で並び、且つ、前記第 2 の方向に延びる、第 3 のパッチ及び第 4 のパッチをさらに含み、

前記第 3 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔は第 3 の間隔であり、前記第 4 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔は前記第 3 の間隔と

は異なる第 4 の間隔であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記線幅検知画像は、前記複数のパッチそれぞれに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔に対応付けられた記号を含むことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記第 1 のパッチと前記第 2 のパッチは、前記第 2 の方向に並んで配されることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記第 1 のパッチの前記第 2 の方向における複数の線の長さと、前記第 2 のパッチの前記第 2 の方向における複数の線の長さとは、ほぼ同一であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記第 1 のパッチの前記第 2 の方向におけるサイズと、前記第 2 のパッチの前記第 2 の方向におけるサイズとは、ほぼ同一であることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記第 1 のパッチの前記第 1 の方向におけるサイズは、前記第 1 のパッチに含まれる 1 つの線の前記第 1 の方向における幅と前記第 1 の間隔との合計と、前記記録装置のラスタライズ解像度に対応する 1 画素の幅と、の最小公倍数以上であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記線幅検知画像は、複数の線の前記第 1 の方向における幅が同じ複数のパッチからなるパッチ群を、前記第 1 の方向における幅毎に複数含み、

前記線幅検知画像において、前記複数のパッチ群毎に前記第 1 の方向に並ぶことを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記複数のパッチ群のうち、第 1 のパッチ群に含まれるパッチと第 2 のパッチ群に含まれるパッチは、前記第 2 の方向のサイズがほぼ同じであることを特徴とする請求項 9 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記記録装置は、第 1 の記録装置および第 2 の記録装置を含み、

前記情報取得手段は、前記第 1 の記録装置および前記第 2 の記録装置によって記録された前記線幅検知画像の記録結果に関する情報を取得し、

前記補正手段は、前記第 1 の記録装置によって記録される線の幅に対して、前記第 2 の記録装置によって記録される線の幅を合わせるように、前記第 2 の記録装置によって記録すべき画像に含まれる線の幅を補正することを特徴とする請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記記録装置は、インクを吐出するための記録ヘッドを用いて記録媒体上に画像を記録することを特徴とする請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置と、

前記情報処理装置からの記録データに基づいて画像を記録する記録装置と、
を含むことを特徴とする記録システム。

【請求項 14】

記録装置によって記録される線の幅を検知するための線幅検知画像の記録方法であって、

、
第 1 の方向において所定幅を有し且つ前記第 1 の方向と交差する方向に延びる複数の線が縞状に並ぶ第 1 のパッチおよび第 2 のパッチを含む線幅検知画像を記録装置によって記

録する記録工程を含み、

前記第 1 のパッチの複数の線の第 1 の方向における幅と、前記第 2 のパッチの複数の線の前記第 1 の方向における幅は実質的に同じであり、且つ、前記第 1 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔は、前記第 2 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔とは異なることを特徴とする記録方法。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の記録方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一実施形態は、記録装置に、所定幅の複数の線が縞状に並ぶ複数のパッチを含む線幅検知画像を記録させるための記録データを取得するデータ取得手段と、前記記録装置による前記線幅検知画像の記録結果に関する情報を取得する情報取得手段と、前記情報取得手段により取得された前記情報に基づいて、前記記録装置によって記録すべき画像に含まれる線の幅を補正する補正手段と、を備え、前記複数のパッチのそれぞれは、第 1 の方向において実質的に同じ間隔で並ぶ複数の線を含み、その各線は、前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向に延び、且つ、第 1 の方向における幅が第 1 の幅であり、前記複数のパッチのうち、第 1 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔は第 1 の間隔であり、第 2 のパッチに含まれる複数の線が前記第 1 の方向に並ぶ間隔は前記第 1 の間隔とは異なる第 2 の間隔であることを特徴とする情報処理装置である。